

平成 18 年 8 月 4 日

愛知県環境影響評価審査会  
会長 成瀬 治興 様

愛知県環境影響評価審査会  
衣浦港 3 号地廃棄物処分場部会  
部会長 岩田 好一 朗

衣浦港 3 号地廃棄物最終処分場整備事業に係る環境影響評価方法  
書について（報告）

平成 18 年 6 月 16 日に審査を依頼されたこのことについては、別添のとおりです。

## 衣浦港 3 号地廃棄物最終処分場整備事業に係る環境影響評価 方法書に関する部会報告

### はじめに

衣浦港 3 号地廃棄物最終処分場整備事業に係る環境影響評価方法書(以下「方法書」という。)について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

本事業は、既成市街地に近接した工場立地が進んでいる衣浦港内において、広域的な廃棄物最終処分場を整備するものであり、環境保全に万全を期するため、関係機関と必要な連携を図りつつ、処分場の計画策定、工事の実施、供用(廃棄物の搬入、埋立、処分場の管理)の各段階における適切な環境配慮と安全で確実な事業の実施が求められる。

事業者においては、こうしたことを念頭に置きつつ、方法書に記載されている事項を的確に実施することはもとより、以下の事項について十分に検討して、適切に環境影響評価を実施し、その結果を環境影響評価準備書(以下「準備書」という。)に記載する必要がある。

また、環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合などにおいては、必要に応じて選定された項目、手法を見直し、又は追加的に調査、予測及び評価を行う必要がある。

### 1 全般的事項

- (1) 事業計画の検討に当たっては、埋立地からの廃棄物の飛散・流出や浸出液処理水の放流による周辺環境への影響等について適正な配慮がなされるよう留意すること。なお、必要に応じて海底面の不透水性地層を確認するためのボーリング調査を実施するとともに、活断層についても調査を実施すること。
- (2) 工事用車両や廃棄物運搬車両の運行に伴う環境負荷の低減を図るため、搬入の時間・ルート of 遵守を徹底するとともに、工事用資機材の輸送について実行可能な範囲で海上輸送に代替することを検討すること。
- (3) 調査については、事業特性及び地域特性を踏まえ、予測及び評価に必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点や時期等を設定すること。また、既存の調査結果を使用する場合は、調査地域の設定根拠、調査日時等について妥当性を明らかにできるように整理しておくこと。

## 2 大気質、騒音、振動

- (1) 工事中の車両や廃棄物運搬車両の運行に伴う大気質、騒音及び振動に係る予測については、必要に応じて建設機械及び作業船や埋立・覆土用機械の稼働による影響を考慮すること。
- (2) 大気質の予測対象時期は、環境影響が最大となる時期としているが、長期的影響及び短期的影響について予測及び評価を行うこと。
- (3) 本事業と密接に関連する臨港道路の工事と当該工事時期が重なることが想定されることから、その工事の状況等についても把握しておくこと。

## 3 水質、底質

- (1) 水環境に係る地域特性を的確に把握するため、既存の水質調査データをより広範に収集し整理するとともに、事業実施区域の北側海域においても水質・底質の調査を行うこと。また、潮流の変化による周辺海域への影響等について適切に把握すること。
- (2) 排水口の位置については、港湾の利用状況や海域環境の状況等を踏まえ、関係者と調整の上、適切な位置とすること。

## 4 動物、植物、生態系

藻場・海藻草類の調査は、埋立区域内について適切に実施するとともに、その結果も踏まえて、生物の生息・生育環境に配慮した護岸の整備について検討すること。その際、必要に応じて専門家の意見を聞くこと。

## 5 その他

- (1) 調査、予測及び評価に当たっては、方法書に対する住民などの意見を十分に検討すること。
- (2) 準備書は専門的な内容が多く、かつ、膨大な図書となる可能性があることから、その作成に当たっては、住民などにわかりやすい内容とすること。

## 検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
平成18年 6 月16日	審査会	知事からの諮問 方法書の内容の検討 住民意見の概要の検討 部会の設置及び付託
平成18年 7 月 3 日	部 会	方法書の内容の検討
平成18年 7 月28日	部 会	方法書の内容の検討 関係町長意見の検討 部会報告の検討

## 愛知県環境影響評価審査会衣浦港3号地廃棄物処分場部会委員

岩田	好一朗	中部大学工学部教授
梅村	武夫	名古屋大学名誉教授
北田	敏廣	豊橋技術科学大学工学部教授
小池	隆	三重大学生物資源学部教授
清水	正一	中京大学総合政策学部教授
大東	憲二	大同工業大学工学部教授
田中	稲子	岐阜市立女子短期大学非常勤講師
中村	浩志	信州大学教育学部教授
坂東	芳行	名古屋大学大学院工学研究科助教授
廣畠	康裕	豊橋技術科学大学工学部教授
光田	恵	大同工業大学工学部助教授
吉村	いづみ	名古屋文化短期大学生活文化学科教授

部会長

部会長代理

(敬称略、五十音順)